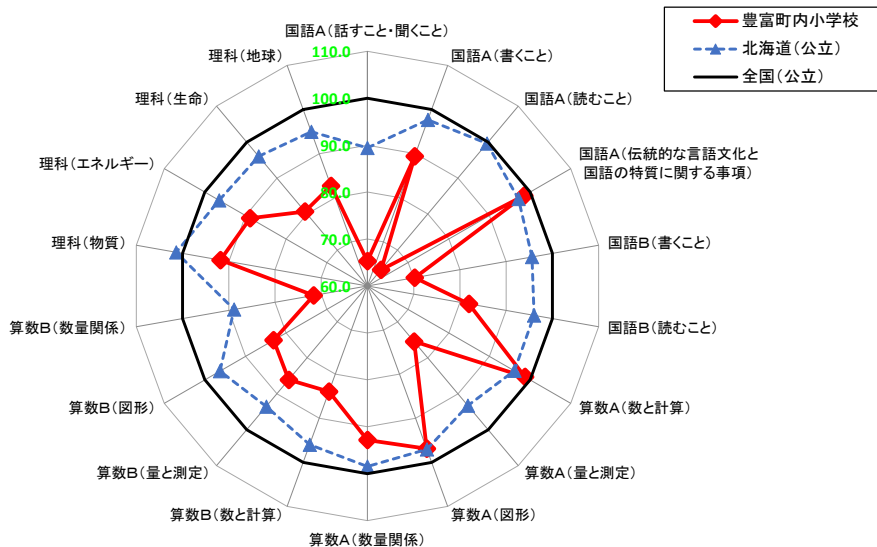


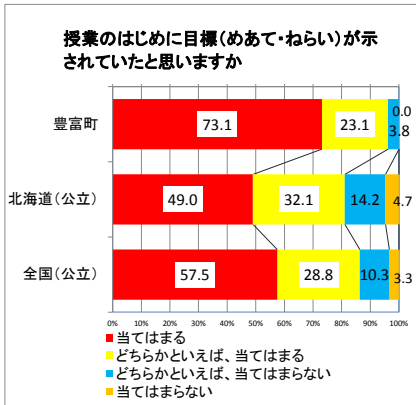
■ 豊富町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:2校、児童数:26名)

【教科全体の状況】

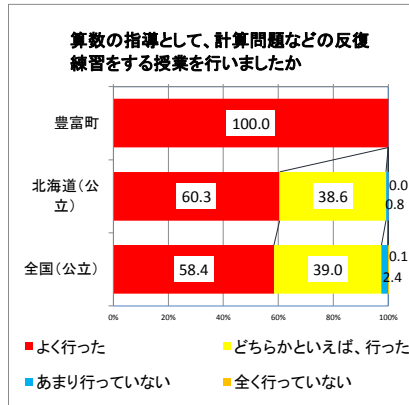
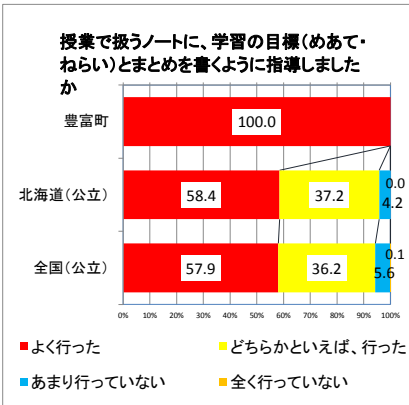
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aでは「数と計算」で、全道を上回っている。 | ○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたり、計算問題などの反復練習をする授業を継続的に行ったりした結果、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるようになり、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの「数と計算」で、全道を上回ったと考えられる。 |
| 児童質問紙 | ○ 「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 | |
| 学校質問紙 | ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか」、「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

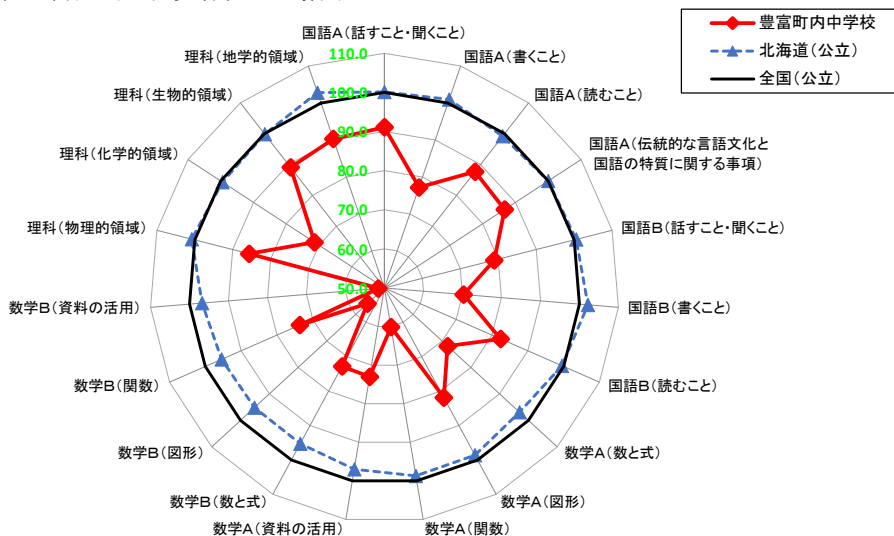
【豊富町の学力向上策】

- ◎ 「学力向上プラン」を活用した組織的な取組
- ◎ チャレンジテストや少人数指導、チームティーチング、習熟度別指導、放課後学習サポートなどの学習指導の充実
- ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した算数教室の開催
- ◎ 地域の学力向上支援事業による授業改善の推進
- ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置

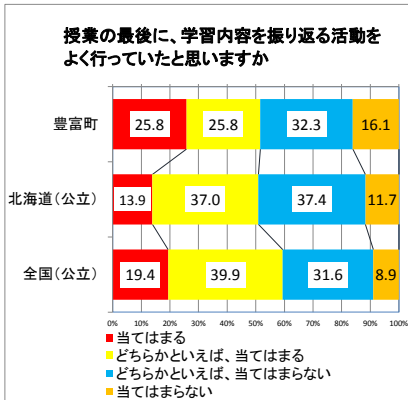
■ 豊富町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:31名)

【教科全体の状況】

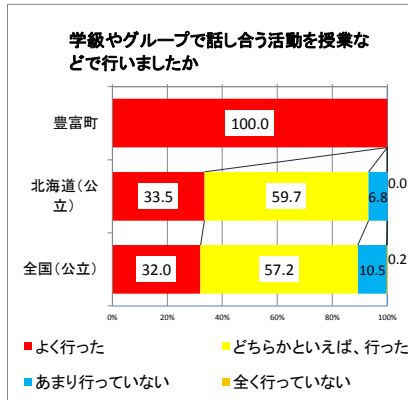
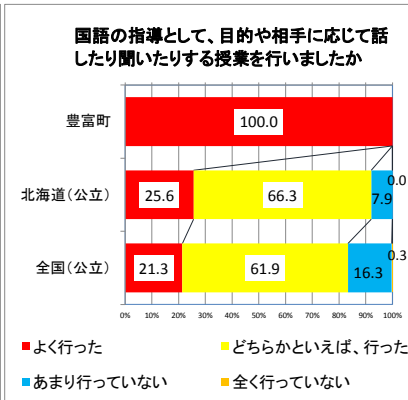
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科では「物理的領域」が、他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 | ○ 目的や相手に応じて話したり聞いたりする活動や、学級やグループで話し合う活動を計画的・継続的に行った結果、基礎的・基本的な内容の定着が図られるようになり、国語Aの「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科の「物理的領域」で、全国及び全道に近付いていると考えられる。 |
| 生徒質問紙 | ○ 「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 | |
| 学校質問紙 | ○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」、「学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

【豊富町の学力向上策】

- ◎ 「学力向上プラン」を活用した組織的な取組
- ◎ チャレンジテストや少人数指導、チームティーチング、習熟度別指導、放課後学習サポートなどの学習指導の充実
- ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した数学教室の開催
- ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置